

平成 18 年 度

事 業 報 告 書

平成 19 年 3 月

財団法人 徳川黎明会
総務部
徳川美術館
徳川林政史研究所

総務部

I. 事業事項

〔I〕 調査研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
1. 尾張徳川家の婚姻について	総務部長・学芸員	近松 真知子 昭和 62 年
2. 尾張徳川家系図の調査研究	〃	〃 63 年
3. 中世・近世初期の「漢画」の研究	非常勤学芸員	林 里絵 平成 11 年
4. 18世紀前半期における京都画壇の研究	同 上	鎌田 純子 14 年
5. 尾張徳川家の絵画制作について	〃	〃 17 年

〔II〕 研究発表

1. 金鯪叢書 第34輯

(1) 川面版源氏物語絵巻について 林 里絵

2. 講演 徳川 義崇

演 目	主 催	会 場	年月日
尾張徳川家と文化財	名古屋中小企業振興会 青年営業研究会	徳川美術館	平成18年 5月19日
尾張徳川家と徳川美術館	東海桜友会	ホテルグランコート 名古屋	〃 10月13日
尾張徳川家と徳川美術館	名古屋ABC	名古屋朝日会館	平成19年 1月11日
尾張徳川家と徳川美術館	本丸御殿フォーラム	名古屋東急ホテル	〃 1月29日
徳川美術館の歴史的な 背景と将来の展望	中部産業活性化センター	徳川美術館	〃 3月15日

〔Ⅲ〕 図書編纂

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 金鯨叢書 第34輯 | 徳川 義崇・近松真知子 |
| 2. 新修 徳川家康文書の研究 第2輯（第6回学術研究基盤整備事業） | 林 里絵・鎌田純子 |

〔Ⅳ〕 所蔵品出陳（他館主催展覧会）

	出陳先	展覧会名称	期 間	出陳品
1	香林坊ヤマトレポート 北陸中日新聞 等	「よみがえる源氏物語絵巻 ―平成復元絵巻のすべて―」	H18. 3. 30～ 4. 11	源氏物語絵巻（平成復元 模写）他
2	大阪市立美術館	「禅の美―墨蹟名品展」	H18. 4. 18～ 5. 28	重要文化財 古林清茂「与月林道皎偈」
3	京都国立博物館	「大絵巻展 ―国宝・源氏 物語絵巻、鳥獣戯画など ―挙公開―」	H18. 4. 22～ 6. 4	国宝 源氏物語絵巻 蓬生 三面 宿木（三）二面 東屋（一）三面
4	新潟市歴史博物館	「よみがえる源氏物語絵巻 ―平成復元絵巻のすべて―」	H18. 4. 22～ 6. 4	源氏物語絵巻（平成復元 模写）他
5	広島県立美術館	「特別展 ペルシャ絨毯の 世界」	H18. 4. 25～ 6. 4	唐花唐草文絨緞 緞通 他3点
6	九州国立博物館	開館記念特別展 「うるま ちゅら島 琉球」	H18. 4. 29～ 6. 25	重要文化財 花鳥七宝繫文密陀絵沈金御 供飯 他2点
7	五島美術館	「禅の美―墨蹟名品展」	H18. 6. 17～ 7. 23	重要文化財 虚堂智愚墨蹟「与徳惟禅者 偈」 他1点
8	広島県立歴史博物館	「よみがえる源氏物語絵巻 ―平成復元絵巻のすべて―」	H18. 8. 18～ 9. 24	源氏物語絵巻（平成復元 模写）他
9	熱田神宮宝物館	秋季企画展 「結びのかたち～神前結婚 の儀礼文化～」	H18. 9. 29～10. 24	天児・這子 赤地雲龍文錦筒守 菊折枝蒔絵廻香炉 他3点

	出陳先	展覧会名称	期間	出陳品
10	大阪城天守閣	特別展 「真田幸村と大坂の陣」	H18. 10. 1～11. 12	徳川秀忠書状 松平下野守宛 板倉勝重書状
11	国立歴史民俗博物館	企画展示 「歴史の中の鉄炮伝来 —種子島から戊辰戦争まで—」	H18. 10. 3～11. 26	火縄銃 六匁筒 人物面 (ア ポロ) 唐草文象嵌 他2点
12	名古屋城特別展 開催委員会	特別展 「尾張のやまと絵 田中訥言」	H18. 10. 23～11. 23	重要文化財 百花百草図屏風 重要美術品 古今著聞集図屏風
13	岐阜市歴史博物館	特別展 「道三から信長へ」	H18. 11. 2～12. 10	斎藤高政書状 斎藤利政書状 長井秀元書状
14	五島美術館	五島美術館茶の友会 平成18年度秋季茶会	H18. 11. 16～11. 19	油滴天目 (星建蓋) 黄天目 菊牡丹唐花文紅花緑葉天目台
15	佐野美術館	「よみがえる源氏物語絵巻 —平成復元絵巻のすべて—」	H19. 1. 5～ 2. 5	源氏物語絵巻 (平成復元 模写) 他
16	そごう美術館	「よみがえる源氏物語絵巻 —平成復元絵巻のすべて—」	H19. 3. 1～ 4. 1	源氏物語絵巻 (平成復元 模写) 他

〔V〕住宅賃貸

1. 外国人向け住宅6棟の賃貸 (収益事業)

II. 処務事項

1. 役員に関する事項

(平成19年3月31日現在)

役名	氏名	就任年月日	担当事務	職 業	最初就任年月
理事	徳川 義崇	平成18. 5. 30	会 長	八雲産業(株)社長 徳川美術館 館長	平成 5. 5
〃	近松真知子	〃	専務理事	(財) 徳川黎明会 総務部長	〃 18. 5
〃	竹内 誠	〃	常務理事	東京学芸大学名誉教授 徳川林政史研究所 所長	〃 13. 5
〃	徳川 斉正	〃		(財)水府明德会会長	〃 13. 5
〃	中田 易直	〃		中央大学名誉教授	〃 14. 11
〃	近藤 道生	〃		(株) 博報堂最高顧問	〃 14. 11
〃	前田 利祐	〃		(社) 霞会館理事	〃 18. 5
監事	田中 秀隆	〃		(財)三徳庵専務理事	〃 5. 5
〃	竹田 憲央	〃		中央化学 (株) 国際本部長・国際管理部長	〃 17. 3
〃	松平 頼武	〃		(学) 本郷学園理事長	〃 13. 5
評議員	麻生 太郎	〃		衆議院議員	〃 4. 2
〃	太田 宏次	〃		(財) 東洋医学研究財団 理事長	〃 16. 5
〃	海部 俊樹	〃		衆議院議員	平成 4. 1
〃	加戸 守行	〃		愛媛県知事	〃 7. 5
〃	小林 喬	〃		富国生命保険(相)相談役	昭和59. 12
〃	里中 哲朗	〃			平成 9. 3
〃	佐藤 豊三	〃		徳川美術館専門参与	〃 18. 5
〃	佐野文一郎	〃		(社)日本工芸会 理事長	〃 13. 5
〃	徳川 義真	〃			〃 10. 5
〃	中村 誠治	〃		(株) 北芝建設相談役	〃 17. 3
〃	西崎 清久	〃		(学) 共立女子学園 常務理事	〃 13. 5
〃	原 俊夫	〃		(財)アルカンシェル美術財団 理事長	昭和 53. 12
〃	濱本 英輔	〃		(株) ロッテ副社長	平成 13. 5

役名	氏名	就任年月日	担当事務	職業	最初就任年月
評議員	林 董一	平成18. 5. 30		愛知学院大学名誉教授	平成 1. 10
〃	久富 修	〃			〃 5. 5
〃	深井 雅海	〃		国学院大学 栃木短大教授 徳川林政史研究所副所長	〃 9. 4
〃	松平 恒忠	〃		日本英語交流連盟 専務理事	平成13. 5
〃	松平 保定	〃		(社福) 子供の町 会長	昭和52. 10
〃	深山 明敏	〃		(財) 偕行社 理事	平成 9. 3
〃	山本 泰一	〃		徳川美術館 副館長	〃 5. 5
合 計		30名			

2. 職員に関する事項

(1) 総 務 部

(平成19年3月31日現在)

職名	職階	氏名	就任年月日	担任業務	
総務部	部長	専務理事	近松真知子	昭和61. 3. 20	総務・学芸関係事項総括
	課長・秘長室長 (庶務担当)	主事補	神田 映子	平成 2. 9. 10	総務・学芸関係事項 林政史 保管写真管理 役員秘書業務
	課長 (会計・経理担当)	〃	田中 博之	〃 9. 6. 1	経理・会計事項
		嘱託	宮 裕美	〃 8. 11. 5	美術館保管写真管理
合 計		4 名	他に非常勤嘱託 7名 (うち1名 非常勤学芸員兼任)		

(2)徳川美術館

(平成19年3月31日現在)

職 名		職 階	氏 名	就任年月日	担 任 業 務
館 長		会 長	徳川 義崇	平成17. 12. 1	館務総括
副 館 長		参事補	山本 泰一	昭和46. 4. 1	館長補佐
学 芸 部	部 長	主 事	四辻 秀紀	昭和58. 2. 15	学芸関係事項統括
	係 長	書 記	吉川 美穂	平成 5. 4. 1	学芸事項
		”	並木 昌史	” 7. 4. 1	”
		”	龍澤 彩	” 13. 4. 9	”
	専門参与	嘱 託	佐藤 豊三	” 18. 9. 28	”
企 画 情 報 部	部 長	参事補	山本 泰一	昭和46. 4. 1	企画情報関係事項統括
	部長代理	主 事	小池 富雄	昭和53. 2. 8	企画情報事項
	課 長 (教育普及担当)	主事補	加藤 啓子	” 58. 4. 1	”
		書 記	鈴木ひろ子	平成 2. 1. 4	”
		”	志賀 太郎	” 16. 9. 1	”
業 務 部	部 長	主 事	寺島 一夫	平成18. 4. 1	庶務・管理関係事項統括
	課 長 (管理担当)	主事補	野村 弘和	昭和63. 3. 1	管理事項
		”	長谷 峰生	” 63. 3. 1	庶務・経理・会計事項
	課 長 (庶務担当)	書 記	大田 智恵	平成 1. 7. 1	庶務及び会計事項
		”	長沼 英樹	” 12. 4. 1	営繕事項
		”	小塚 愛弓	” 18. 4. 1	庶務事項
		補 手	間瀬田 憲次	” 15. 12. 9	管理事項
		”	間瀬田 加代	”	”
合 計			19 名	他に非常勤研究員 12 名(うち1名 役員兼任)	

(3) 徳川林政史研究所

(平成19年3月31日現在)

職 名	職 階	氏 名	就任年月日	担 任 業 務
所 長	常務理事	竹内 誠	平成10. 10. 1	所務総括
副 所 長	参事補	深井 雅海	平成11. 4. 1	所長補佐並びに研究・補助金 交付事項
主任研究員	主事補	太田 尚宏	〃 11. 4. 1	研究及び蔵書目録編纂事項
研 究 員	書 記	白根 孝胤	〃 15. 4. 1	〃
事務主任	〃	鶴岡 香織	〃 11. 4. 1	林政史研究所庶務
合 計		5 名	他に非常勤研究員 13 名 非常勤研究生 15 名	

(4) 職員総計

総 計	28 名	他に非常勤嘱託 7 名 (うち1名 非常勤学芸員兼任) 非常勤研究員 25 名 (うち1名 役員兼任) 非常勤研究生 15 名
-----	------	---

なお上記のほか、部外の業務・研究協力者を参与に委嘱している。この人員は美術館2名・林政史研究所6名となっている。

3. 役員会に関する事項

(1) 理 事 会

第1回 ①

- 開 催 平成18年5月30日 午前11時 当会に於いて
- 議 事
 1. 平成17年度事業報告の件
 2. 平成17年度収支決算報告並びに監査報告の件
 3. 組織変更ならびに規程改訂の件
 4. 任期満了による評議員選出の件
- 結 果
 - 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。
 3. 此度、財団本部に正式に秘書室を設置し、室長職を新設した。また、雇用形態の将来を見据えて新たに専門参与職を設けた。これに伴い財団法人徳川黎明会規程

の改訂を行いたいとの提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため、これを承認可決した。

4. 現在、評議員は前回改選時のまま20名であるが、任期満了により新たに評議員を選出するにあたり、前田利祐氏と当財団総務部長 近松真知子 を除く18名の重任の承諾を得た。また理事退任の意向を示されている原俊夫氏と徳川美術館学芸部長 佐藤豊三 の2名に新たに評議員を委嘱したいとの提議があり、出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため、これを承認可決した。

第1回 ②

- 開 催 平成18年5月30日 正午 当会に於いて
- 議 事 1. 会長・専務理事・常務理事選出の件
- 結 果 1. 評議員会において選出された7名の理事（平成18年5月30日付就任）の中から、選挙の結果、次の通り決定した。（欠席者は議決権行使書により参加）
 - 会長理事 徳川義崇
 - 専務理事 近松真知子
 - 常務理事 竹内 誠

第2回

- 開 催 平成18年8月1日 午後4時 当会に於いて
- 議 事 1. 寄贈品受け入れの件
- 結 果 1. 此度、前会長 故徳川義宣の遺族より寄贈申込みがあった。当会としては受け入れを受諾したい。なお、当該32件のうち13件については租税特別措置法第40条の摘要につき国税庁長官の承認を受けた上で、当会の基本財産に組み入れることとしたいとの提議があり、相続人である徳川義崇を除く6名の理事で議決を行い、審議の結果一同異議なく、これを承認可決した。
(民法第57条に基づき、相続人である徳川義崇会長は審議及び議決には不参加。)

第3回

- 開 催 平成18年8月18日 午後4時 当会に於いて
- 議 事 1. 寄贈品受け入れの件
- 結 果 1. 此度、愛知県名古屋市中住の福谷七郎氏より寄贈申込みがあった。当会としては受け入れを受諾したい。なお、租税特別措置法第40条の摘要につき国税庁長官の承認を受けた上で、当会の基本財産に組み入れることとしたい、との提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、これを承認可決した。

第4回

- 開 催 平成19年3月29日 午後5時 東京都港区元赤坂二丁目二番二十三号
明治記念館に於いて
- 議 事 1. 平成18年度収支更正予算案審議の件
2. 平成19年度事業計画及び同収支予算案審議の件
- 結 果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため原案の通り承認可決された。

(2)評 議 員 会

第1回 ①

- 開 催 平成18年5月30日 午前10時30分 当会に於いて
- 議 事 1. 平成17年度事業報告の件
2. 平成17年度収支決算報告並びに監査報告の件
- 結 果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。

第1回 ②

- 開 催 平成18年5月30日 午前11時30分 当会に於いて
- 議 事 1. 任期満了による理事・監事選出の件
- 結 果 1. 理事会において承認可決された新評議員に対し、理事及び監事の選出をしたい旨の提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、次の通り承認可決された。

理事

徳川義崇（重任）、竹内 誠（重任）、近藤道生（重任）、徳川斉正（重任）
中田易直（重任）、前田利祐（新任）、近松真知子（新任） 以上7名

（平成18年5月30日就任）

監事

田中秀隆（重任）、竹田憲央（重任）、松平頼武（重任） 以上3名

（平成18年5月30日就任）

第1回 ③

- 開催 平成18年5月30日 午後12時30分 当会に於いて
- 議事 1. 専務理事・常務理事就任に関し給与年額最高支給額設定の件
- 結果 1. 林政史研究所 竹内 誠 所長の再度の常務理事就任にあたり、当会寄付行為第23条に照らし、給与年額最高支給額を前回同様3,000千円と設定したい。また、当財団総務部長 近松真知子が新たに専務理事に就任するにあたり、これも同条目に照らし、給与年額最高支給額を 15,000千円と設定したいとの提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、これを承認可決した。

第2回

- 開催 平成19年3月29日 午後4時 東京都港区元赤坂二丁目二番二十三号
明治記念館に於いて
- 議事 1. 平成18年度収支更正予算案審議の件
2. 平成19年度事業計画及び同収支予算案審議の件
- 結果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため原案の通り承認可決された。

4. 監査に関する事項

平成17年度収支決算監査が、平成18年5月26日当会に於いて行われ、その結果適法正確と認められた。

5. 寄附金に関する事項

平成17年2月10日、通算8回目の特定公益増進法人の認定を受けた。

これに基づき平成19年2月9日を目途に総額25,000千円として募金活動を開始したところ、合計46,022千円（法人43件、個人693件）を以て終了した。

引続き平成19年2月9日、通算9回目の認定を受けた。これに基づき平成21年2月8日を目処に総額25,000千円として募金活動を開始したが、これも大方の理解と協力を得て平成19年3月31日現在、法人1件（3口）、個人10件（102.1口）合計1,321千円が寄せられている。

徳川美術館

I. 事業事項

(a) 学芸関係

[I] 調査研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
1. 館蔵品悉皆調査	学 芸 部 共 同	昭和63年
2. 尾張徳川家関係寺社蔵品調査	” ”	” 58年
3. 徳川美術館蔵仏画の調査研究	副館長・学芸員 山本泰一	” 49年
4. 請来仏画の研究	” ”	” 56年
5. 『君台観左右帳記』の研究	学芸部・専門参与 佐藤豊三	” 58年
6. 茶の湯の名物道具について(名物論) －『玩貨名物記』を中心にして－	” ”	” 63年
7. 戸山屋敷御成について	” ”	平成 3年
8. 近世名古屋城下における文芸活動 －尾張藩士を中心に－	企画情報部部長代理・学芸員 小池富雄	昭和57年
9. 幸阿弥派蒔絵の研究	” ”	平成元年
10. 古代・中世の料紙装飾の系譜	学芸部長・学芸員 四辻秀紀	昭和60年
11. 歌絵・物語絵の研究	” ”	平成 3年
12. 近世絵画の研究	学芸部係長・学芸員 吉川美穂	” 6年
13. 尾張を中心とする画家の活動について	” ”	” 11年
14. 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	学芸員 並木昌史	” 8年
15. 有職装束の研究	” ”	” 8年
16. 中近世やまと絵の研究	” 龍澤 彩	” 13年
17. 館蔵朝鮮陶磁の調査研究	” ”	” 16年
18. 中国絵画とその影響を受けた日本中近世絵画の研究	” 志賀太郎	” 16年

[Ⅱ] 研究発表

1. 金鯨叢書 第34輯

- (1) 尾張家十四代慶勝が購入した浮世絵
—名古屋市蓬左文庫蔵『内密御買上物卯』を中心に— 吉川美穂
- (2) 徳川將軍家の装束について —高倉家伝来調進控裂を中心に— 並木昌史
- (3) 甲子園学院蔵「鼠の草子絵巻」について 龍澤 彩
- (4) 無住子筆「朝陽対月図」対幅の史的位
置 —文人画的傾向を示す元代禅画の一遺例として— 志賀太郎
- (5) 「源氏物語絵巻」賢木巻の情景選択に関する一考察 非常勤研究員 稲本万里子氏

2. 尾陽 第三輯

3. 特別展図録(部内)

- (1) 秋季特別展「秋季特別展 茶の湯の名宝 —大名家の格式と伝統—」
- ・大名家と茶の湯 —格式と伝統— 佐藤豊三
 - ・一点解説 // 志賀太郎
- (2) 秋季特別展「絵で楽しむ日本むかし話—お伽草子と絵本の世界—」
- ・お伽草子と絵本の世界 —読むよろこび 眺める楽しみ 龍澤 彩
 - ・一点解説 四辻秀紀・龍澤 彩

4. その他雑誌・刊行物

- (1) 「尾張徳川家の収納術」展 (中日新聞 一点解説) 小池富雄
- (2) 「茶の湯の名宝」展 (//) 佐藤豊三
- (3) 「尾張徳川家の雛まつり」展 (//) 四辻秀紀・龍澤 彩

5. 定期研究発表会

- | | (内 容) | (年月日) | |
|------|--|------------|------|
| 第49回 | 大治元年八月 摂政左大臣家歌合
—新出の二十卷本類聚歌合の紹介をかねて— | 18. 11. 25 | 四辻秀紀 |
| 第50回 | 秀吉の風呂桶
—犬山、佐賀ほかに残された高台寺蒔絵風呂桶類の製作年代と伝承を考証する— | 19. 2. 10 | 小池富雄 |

6. 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
箆笥と長持	18. 4. 22	小池富雄
徳川義親と文化活動	5. 20	並木昌史
殿さまと刀剣	6. 17	佐藤豊三
天下人と瀟湘八景	7. 29	志賀太郎
徳川慶勝と写真	9. 16	明海大学教授 岩下哲典氏
お伽草子絵を楽しむ	10. 14	龍澤 彩
尾張家十四代慶勝と浮世絵	11. 18	吉川美穂
金欄をめぐる諸相	18. 1. 20	京都国立博物館研究員 山川 暁氏
闇から照らされる利休	2. 24	大日本茶道学会副会長 田中仙堂氏
雛の歴史	3. 10	四辻秀紀

7. 夏期講座「大名家の茶の湯」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
武家の茶の湯	18. 8. 22	佐藤豊三
茶の湯にあらわれた大名家の個性	〃	〃
前田家の茶の湯道具	8. 23	石川県立歴史博物館副館長 北春千代氏
尾張徳川家の名物茶の湯道具	〃	山本泰一
見学会(成巽閣、石川県立美術館、中村記念美術館、金沢21世紀美術館)	8. 24	

8. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
天明の打ちこわしと寛政改革	18. 6. 24	竹内 誠
松平定信政権成立の裏事情	7. 1	深井雅海
御三家の系譜編さん事業(1)	7. 8	白根孝胤
御三家の系譜編さん事業(2)	7. 15	〃
御代官所の構造改革(1)	7. 22	太田尚宏
御代官所の構造改革(2)	7. 29	〃

9. 能楽講座「尾張徳川家の能」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
弁慶必死のアドリブ 勧進帳	18. 4. 8	観世流シテ方 片山清司氏
延年之舞ってどんな舞?	5. 6	藤田流笛方 藤田六郎兵衛氏
歌舞伎座勧進帳に出演それって除名?	6. 3	大蔵流狂言方 茂山千之丞氏
弁慶という存在	8. 5	歌人 馬場あき子氏

10. 講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)
(1) 歴史の楽しみ方 ―お宝の履歴を追う―	18. 4. 15	徳川林政史研究所所長・江戸東京博物館館長 竹内 誠
(2) 大名家の茶の湯	10. 7	林原美術館館長 熊倉功夫氏

11. 部外出講

(主催者)	(演 目)	(期 間)	(担 当)
(1) 名古屋造形芸術大学	東洋美術史特講	通年	山本泰一
(2) 東海学園大学	日本文化特論	集中	〃
(3) 名古屋芸術大学	博物館学各論	通年	佐藤豊三
(4) 愛知県立芸術大学	博物館概論	集中	〃
(5) 中京女子大学	博物館学実習	〃	〃
(6) 名古屋外語大学	文化 I	前期	小池富雄
(7) 南山大学	博物館学Ⅲ	後期	〃
(8) 愛知淑徳大学	美術史	後期	四辻秀紀
(9) 南山大学	日本美術史	前期	〃
(10) 名古屋芸術大学	博物館実習	集中	吉川美穂
(11) 椙山女学園大学	博物館実習	〃	〃
(12) 金城学院大学	日本文化とデザイン	前期	並木昌史
(13) 愛知県立大学	日本美術史	後期	龍澤 彩
(14) 栄中日文化センター	かな古筆の名品を訪ねて	4～9月 (月一回)	四辻秀紀
(15) 朝日カルチャーセンター	絵巻から解き明かす源氏物語	4. 24・5. 22・6. 26	〃
(16) 朝日カルチャーセンター	源氏物語絵巻の世界	8. 31	〃
(17) 栄中日文化センター	かな古筆の名品を訪ねて2	10月～19年3月(月1回)	〃
(18) パティオ池鯉鮒	東海美術館巡り	4. 19, 26	小池富雄
(19) 誓願寺	西山三派中央教学講習会	7. 1	山本泰一
(20) 株式会社 創芸	徳川園周辺の歴史と今も愛される街	8. 10	〃
(21) 福井市郷土歴史博物館	大安禅寺文化財の見どころ	8. 19	志賀太郎
(22) 広島県歴史博物館	よみがえる源氏物語絵巻	9. 19	四辻秀紀
(23) 新宿歴史博物館	大名文化と尾張家について	10. 22	佐藤豊三
(24) 日本博物館協会	パネルディスカッション	11. 17	山本泰一
(25) そごう美術館	よみがえる源氏物語絵巻	19. 3. 7	四辻秀紀

1 2. 復元製作

- ・薄水色地桐文麻浴衣(染技連製作)
- ・銀箔置網代笠馬標(大斗製作)

1 3. 国宝「源氏物語絵巻」現状摸写製作指導(東京芸術大学製作)

1 4. 職員派遣協力

(1) 広島県立美術館	「ペルシャ絨緞の世界」展示指導	4. 23	小池富雄
(2) 〃	〃	6. 5	佐藤豊三
(3) 宮内庁	「春日権現験記絵」修理指導	8. 1, 10. 12, 19. 1. 25	四辻秀紀
(4) 安福寺	宝物調査準備会	19. 2. 23	小池富雄

1 5. 職員派遣

(1) 名古屋市資料調査研究会	資料調査研究会調査員	14. 12. 21~21. 3. 31	小池富雄
(2) 福井市	『福井市史』通史編集委員	18. 1. 16~19. 1. 31	志賀太郎
(3) 岡崎市博物資料収集委員会		18. 2. 23~20. 3. 31	小池富雄
(4) 南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター	研究分担者 (文化資源の公開のための研究)	18. 4. 1~23. 3. 31	〃
(5) 文化遺産オンライン運営委員会	専門委員会		志賀太郎

1 6. 職員委嘱

(1) 愛知県	県史編さん委員会特別調査委員(絵画)	18. 5. 1 ~調査終了時 (1年更新)	吉川美穂
(2) 名古屋市東区役所	名古屋市東生涯学習センター協議会委員	18. 5. 15~20. 5. 14	小池富雄
(3) 愛知県	県史編さん委員会特別調査委員(漆工史・工芸史)	19. 2. 1~調査終了時 (1年更新)	〃
(4) 名古屋市東区役所	東区制100周年記念誌編集委員会	18. 4. 1~20. 3. 31	〃
(5) 九州国立博物館	買取評価会評価員	18. 6. 14	〃

17. 学会活動

- (1) 漆工史学会 事務局 平成8年より
- (2) 私立美術館会議 事務局 平成3年より
第16回私立美術館会議 17. 7. 28開催 於三井記念美術館

[Ⅲ] 展 示

1. 常設展示(第1～6室)

- (1) 大名の生活と文化 約1ヶ月毎に展示替

常設展示入場者数(企画展示期間を除く) 19,836人

- (2) 特別公開

国宝 源氏物語絵巻 柏木一・宿木一	18. 11. 18～11. 26	第5室
千利休 泪の茶杓	19. 2. 24～ 3. 4	第2室

2. 企画展示 (第7～9室)

	(会 期)	(入場者数)
(1) 春季特別展 尾張徳川家の収納術 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	18. 4. 15 ～ 5. 28	30,889人
(2) 企画展示 尾張徳川家 殿様の愛した名刀 (日本経済新聞社共催)	6. 3 ～ 7. 17	26,153人
(3) 企画展示 天下人たちの時代 一信長・秀吉・家康一 (朝日新聞社共催)	7. 22 ～ 9. 3	30,939人
(4) 企画展示 幕末の残像 一尾張の殿様が撮った写真一 (朝日新聞社共催)	9. 9 ～ 10. 1	12,823人
(5) 秋季特別展 茶の湯の名宝 一大家の格式と伝統一 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・文化庁共催)	10. 7 ～ 11. 5	26,961人
(6) 企画展示 みる・まなぶ・たのしむ 幕末・明治の浮世絵 (日本経済新聞社共催)	11. 11 ～ 12. 10	19,004人

(7)企画展示 名物裂 ―渡来織物の美― (日本経済新聞社共催)	19. 1. 4 ~ 1.28	11,165人
(8)特別展 尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	2. 3 ~ 4. 8	74,093人
	企画展示入場者数合計	232,027人
	平成18年度総入場者数	251,863人

3. 蓬左文庫展示室

展示室1・2および徳川美術館第5展示室

	春季特別展 徳川義親と文化遺産 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	18. 4. 12~ 5. 28
展示室 1	名古屋城下町散歩	5. 31~ 7. 23
展示室 2	なごやのまつり	〃
展示室 1	江戸の自然観察	7. 26~ 9. 24
展示室 2	国絵図と城絵図	〃
展示室1・2	秋季特別展 絵で楽しむ日本むかし話 ―お伽草子と絵本の世界― (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	9. 27~ 11. 5
展示室 1	異国へのまなざし	11. 8~ 12. 10
展示室 2	尾張藩の兵学	〃
展示室 1	東洋の印刷と版本	19. 1. 4~ 2. 18
展示室 2	江戸のコミック	〃
展示室 1	こころの旅 ―名所と詩歌―	2. 21~ 4. 8
展示室 2	南蛮・紅毛の学問	〃

4. 巡回展「よみがえる源氏物語絵巻」 (NHK名古屋放送局・NHK中部ブレイズ・五島美術館共催)

香林坊大和デパート	18. 3. 30~ 4. 11
新潟市歴史博物館	4. 22~ 6. 4
広島県立歴史博物館	8. 18~ 9. 24
佐野美術館	19. 1. 5~ 2. 5
そごう美術館	3. 1~ 4. 1

5. 特別観覧

	(会 期)	(入場者)
(1) 葵茶会	18. 5. 13・14・21	891人
(2) 徳川茶会	18. 10. 8～11. 3(7日間)	2,747人

6. 展示品リスト・キャプション・解説 作成 学芸部共同

7. 古美術相談会

9回開催 12件。この他に写真の郵送、来館などにより計38件の古美術相談を行った。

8. 学芸員実習 5名 18. 7. 26～ 8. 3

[IV] 特別観覧 (敬称略)

(観 覧 者)	(年 月 日)	(作 品)
(1) 有賀祥隆氏 (東京芸術大学) ほかに2名	18. 4. 6	地藏菩薩像ほかに2件
(2) 手塚雄二氏 (東京芸術大学) ほかに10名	4. 18	源氏物語絵巻 竹河 (一) 絵ほかに3件
(3) 伊波栄一氏 (海洋博覧会記念公園管理財団) ほかに8名	4. 20	琉球楽器 鼓ほかに12件
(4) 尾野善裕氏 (京都国立博物館)	6. 7	緑交趾釉金欄手壽字香合
(5) 手塚雄二氏 (東京芸術大学) ほかに13名	6. 16	源氏物語絵巻 蓬生 詞1・2ほかに6件
(6) 室瀬和美氏 (目白漆芸文化財研究所)	6. 21	琉球楽器 銅鑼ほかに3件
(7) 仲町啓子氏 (実践女子大学) ほかに4名	6. 23	遊楽図 (相応寺) 屏風
(8) 寺澤 賢氏 (フォックス21) ほかに4名	6. 28	第三展示室
(9) 根立研介氏 (京都大学) ほかに4名	7. 6	豊国祭図屏風
(10) 村木 誠氏 (名古屋市史編集委員)	7. 13	高坏
(11) 五味 聖氏 (宮内庁三の丸尚蔵館)	8. 10	七夕蒔絵手箱ほかに2件
(12) 安藤淳一氏 (トータルメディア開発研究所) ほかに6名	8. 25	駿府御分物御道具帳
(13) 小川 明氏 (林原美術館)	8. 30	菊折枝蒔絵貝桶
(14) 手塚雄二氏 (東京芸術大学) ほかに13名	8. 30	源氏物語絵巻 蓬生 詞1・2ほかに5件
(15) 塩島敦子氏 (NHKエンタープライズ)	9. 13	漢作茄子茶入 銘 茜屋ほかに3件

(16)手塚雄二氏（東京芸術大学）ほか13名	10. 18	蓬生 詞1・2 ほか5件
(17)山口啓司氏（愛知県史編さん室）ほか5名	10. 25	織田信雄判物ほか8件
(18)手塚雄二氏（東京芸術大学）ほか13名	11. 29	源氏物語絵巻 絵合 ほか6件
(19)大和恵子氏（豊前小倉織研究会）	11. 29	縞小倉羽織
(20)小瀧雄一郎氏（愛知県県史編さん室）	11. 30	不動明王像ほか2件
(21)廣海伸彦氏（学習院大学大学院）	12. 6	豊国祭礼図屏風
(22)垣尾哲夫氏（岡谷鋼機株式会社）ほか2名	19. 1. 10	百花百草図屏風
(23)田辺三郎助氏（愛知県県史編さん室）ほか5件	1. 17-19	能面 小面ほか154件
(24)山口源兵衛氏（誉田屋源兵衛株式会社）ほか7件	1. 23	遊楽図（相応寺）屏風
(25)前田孝充氏（浦添市美術館）ほか3件	2. 3	鳥獸草花文箔絵足付盆ほか4件
(26)手塚雄二氏（東京芸術大学）ほか13名	2. 16	源氏物語絵巻 絵合 ほか6件
(27)伊波栄一氏（海洋博覧会記念公園管理財団） ほか8名	2. 21	琉球楽器 長線ほか8件
(28)安藤茂良氏	2. 27	木曾山材木伐出之図
(29)種田祐司氏ほか15名	3. 9	御鷹場之絵図ほか4件
(30)小笠原小枝氏（日本女子大学）ほか4名	3. 13	花唐草文蒙流ほか5件
(31)増田勝彦氏（昭和女子大学）ほか3名	3. 17	重之集ほか2件
(32)田辺三郎助氏（愛知県県史編さん室）	3. 23	能面 小面ほか154件 (1. 17～の継続)

[V] 図書編纂

部 内

- (1) 秋季特別展「茶の湯の名宝 一大名家の格式と伝統」
- (2) 秋季特別展「絵で楽しむ日本むかし話 お伽草子と絵本の世界」
- (3) 尾陽 第三輯

[VI] 収蔵品管理

1. 収蔵品の撮影

部 内

- (1) 「幕末・明治の浮世絵」展関係
- (2) 「茶の湯の名宝」展関係
- (3) 「お伽草子」展関係
- (4) 「尾張の殿様」展関係
- (5) 新規購入、修理後作品撮影

部 外

- (1) 京都国立博物館依頼(交趾釉金襴手寿字香合)
- (2) トータルメディア開発依頼(駿府御分物)
- (3) 中国・朱沿華(浙江大学中国古代書画研究所)依頼(龍図ほか)
- (4) 鈴木時代裂依頼(桐唐草文金襴ほか)
- (5) 富山県水墨美術館依頼(「徳川家の姫君」展関係)

2. 什宝組入

- (1) 富士図 狩野養信筆 一幅 19. 3. 31

3. 収蔵品修理

(1) 普通美術品

修理完了日

- ① 緋縹子地葵紋付火事頭巾 一頭 18. 4. 28(第6回学術研究基盤整備事業)
- 黒羅背板地葵紋付波文火事羽織 一領
- ② 名古屋城下図 一枚 7. 27()
- ③ 紫陽花蒔絵印籠 一合 " (第1回徳川美術館拡充整備基金)
- ④ 松鴛鴦蒔絵印籠 一合 " (")
- ⑤ 紫檀龍仙人彫印籠 一合 " (")

(2) 基本美術品

- ① 富士・吉野・龍田図 三幅対 11. 9(第2回徳川美術館拡充整備基金)
- ② 葉月物語絵巻 十二面 修理継続中(平成17年度国宝重要文化財等保存整備費補助金)

4. 購 入

普通美術品

- (1) 蠟色葵紋散蜀江蒔絵重硯箱 一具 ながさか 18. 6. 2(第2回徳川美術館拡充整備基金)
- (2) 徳川家康自筆書状 侍女宛 一幅 思文閣出版 7. 27(")
- (3) 溜塗網代笠(馬標) 一枚 大斗 " (第6回学術研究基盤整備事業)
- (4) 源氏物語蒔絵料紙箱 一合 クリスティーズ・ロンドン 11. 16(第2回徳川美術館拡充整備基金)
- (5) 徳川家康書状 一幅 ながさか 19. 1. 5(")
- (6) 梨子地葵紋散懸盤 一組 古裂会 2. 2(")
- (7) 光悦謡本 野の宮 一帖 思文閣出版 3. 9(")
- (8) 薄水色地桐文麻浴衣 一領 染技連 " (第1回徳川美術館拡充整備基金)
- (9) 諸国名所百景尾州名古屋真景 一枚 思文閣出版 18. 12. 25
二代広重画

(10)源氏香函巻	一卷	一誠堂書店	19. 1. 25
(11)千代田之御表	一帖	思文閣出版	3. 26
(12)庭の訓抄 伴蒿蹊著 田中訥言挿絵	一冊	永楽屋	3. 30

5. 受贈

受贈美術品

(1)石山切 伊勢集 重要美術品(表いつかたに 裏ふりとけぬ)

	一幅	福谷七郎氏	17. 5. 23
(2)徳川家光書状 酒井雅楽頭宛 (元和二年)三月廿九日付	一幅	徳川義崇氏	8. 1
(3)桜図自画賛 徳川斉荘筆	一幅	〃	〃
(4)猿猴図 伝 徳川家康筆	一幅	〃	〃
(5)夷図 徳川家康筆	一幅	〃	〃
(6)徳川家光書状 酒井雅楽頭宛 (元和五年)六月廿五日付	一幅	〃	〃
(7)徳川義直書状 浅野采女正宛	一幅	〃	〃
(8)新古今和歌集 真名序 伝 冷泉為相筆	一卷	〃	〃
(9)徳川家康自筆消息 亀姫宛	一幅	〃	〃
(10)春日局消息 権大納言宛 十一月十三日付	一幅	〃	〃
(11)蘭相如賛 徳川義直筆	一幅	〃	〃
(12)六言二句「玉不琢不成器 人不学不知道」 徳川慶喜筆	一幅	〃	〃
(13)七言二句「人君俗而号令成 人臣信而邦家栄」	一幅	〃	〃
(14)小倉色紙手習「こひすてふ」 徳川家康筆	一幅	〃	〃
(15)二大字「一覇」 徳川家茂筆	一幅	〃	〃
(16)岩に鶴鴿図 徳川秀忠筆	一幅	〃	〃
(17)徳川秀忠書状 清須侍従(松平忠吉)宛 七月廿三日付	一幅	〃	〃
(18)徳川家康自筆直書 村越直吉宛	一幅	〃	〃
(19)僧正遍昭書手習 徳川家康筆	一幅	〃	〃
(20)徳川家康書状 堀直寄宛(未表具)	一枚	〃	〃
(21)徳川家康書状 堀直寄宛	一幅	〃	〃
(22)徳川秀忠自筆書状 尾張大納言宛	一幅	〃	〃
(23)古今和歌集 下冷泉持為筆	二冊	〃	〃
(24)大和物語	五冊	〃	〃
(25)佛釈義(仮題)	一卷	〃	〃
(26)一行書「仁義禮智信」 徳川綱重筆	一幅	〃	〃
(27)靈照女・花鳥図 清原雪信筆	三幅対	〃	〃
(28)小倉色紙写「こひすてふ」 徳川家康筆	一幅	〃	〃
(29)名處卯花 徳川斉昭筆	一幅	〃	〃

(30)埴輪武人像 千葉県印旛郡鎌刈古墳出土	一躰	徳川義崇氏	〃
(31)黒漆山水楼閣人物図螺鈿硯箱	一合	〃	〃
(32)黒漆尾長鶏梅図堆錦螺鈿東道盆	一合	〃	〃
(33)潤塗葡萄栗鼠箔絵密陀絵盆	四枚	〃	〃

2. 普通美術品

(1)三十六歌仙図屏風 原田圭岳筆	六曲一双	福谷七郎氏	18. 5. 23
(2)源氏物語絵巻 現状模写 柏木二(詞書一・二紙)	一面	中村寿生氏	6. 23
(3)源氏物語絵巻 現状模写 橋姫(詞書一・二紙)	一面	前田 力氏	〃
(4)黒漆梅鉢文付蓬莱蒔絵碁盤	一面	内田善太郎氏	19. 2. 16
(5)黒漆梅鉢文付蓬莱蒔絵将棋盤	一面	〃	〃
(6)黒漆梅鉢文付蓬莱蒔絵双六盤	一面	〃	〃

[VII] 図書の購入・寄贈

1. 図書は、『古九谷』、『元信画集』などの他、『冷泉家時雨亭叢書』（朝日新聞社）、『大東急文庫善本叢刊』（汲古書院）などの継続により、計480冊を購入。また、『扇のなかの中世都市—光円寺所蔵「月次風俗図扇面流し屏風」』（大阪大学出版会）、『日本文様史—古代王権その異界の表象—』（雄山閣出版）、『新修徳川家康文書の研究 第二輯』（吉川弘文館）など計473冊の寄贈を受けた。
2. 雑誌は、『國華』、『佛教芸術』、『美術史学研究』（韓国美術史学会）、『文物』、『故宮學術季刊』などの定期購読のほか、『観音』のバックナンバー63冊など、計332冊を購入。また、『茶道の研究』、『刀剣美術』、『美術研究』、『MUSEUM』ほか多数の寄贈を受けた。

(b) 企画情報関係

[I] 展示普及

1. ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

2. ニュースレター作成

(1) 企画展プレスレビュー

尾張徳川家の収納術、尾張徳川家 殿様の愛した名刀、天下人たちの時代、幕末の残像
茶の湯の名宝、幕末・明治の浮世絵、名物裂、尾張徳川家の雛まつり

(2) 蓬左文庫特別展プレスレビュー

徳川義親と文化遺産、江戸の自然観察、絵で楽しむ日本むかし話

(3) 記念講演会、土曜講座、能楽講座、狂言講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

(4) ギャラリー・コンサート、定期研究発表会、記念講演会、蓬左文庫共催春季特別展の特別
企画ヴァイオリン演奏会、新春カレンダープレゼント 掲載依頼

(5) 親と子の甲冑教室・十二単着付教室・夏休み子ども特別企画参加者募集、売店「よみがえ
る源氏物語絵巻 写真付き切手シート」販売、香袋づくり教室・ひな御膳 掲載依頼

(6) 土曜子ども教室・親と子の甲冑教室・夏休み子ども特別企画・ひな御膳・十二単着付教室 取
材願い

(7) 新発見・初公開「徳川家康自筆書状 侍女宛」、来館者数500万人突破記念式典、初公開
「二十巻本類従歌合」、復元網代馬印公開、故徳川義宣氏を偲ぶ会、特別公開「国宝 源氏
物語絵巻 柏木一・宿木一」「泪の茶杓」 取材願い

3. プレスレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(1) 徳川義親と文化遺産	18. 4. 12	2	3
(2) 尾張徳川家の収納術	4. 14	1	1
(3) 端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	1	1
(4) 尾張徳川家 殿様の愛した名刀	6. 2	1	1
(5) 徳川家康書状新発見	7. 14	6	4
(6) 天下人たちの時代	7. 29	1	3
(7) 夏休み子ども教室	8. 1	0	1
(8) 来館者数500万人突破記念式典	〃	3	3
(9) 絵で楽しむ日本むかし話	9. 27	2	4
(10) 茶の湯の名宝	10. 6	2	2
(11) 復元網代馬印公開	10. 18	4	0
(12) 幕末明治の浮世絵	11. 10	1	2

(13)名物裂	19. 1. 14	3	0
(14)尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	2. 2-21	10	5
(15)千利休 泪の茶杓	2. 24	1	1

4. 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。

- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ほか
- ・婦人雑誌 家庭画報 婦人画報 和楽 ほか
- ・歴史関係 歴史研究 ほか
- ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ ほか

5. 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件、御園座パンフレット、キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、名鉄・JR東海、車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示、日本通運名古屋支店屋外広告

[II] 印刷物・刊行物作成・配布

1. 徳川美術館への招待・パンフレット 作成

2. 割引券・年賀状・招待券作成

招待券

通年割引優待券

厚生年金割引優待券

夏休み子ども特別企画(天下人たちの時代)家族割引券

年賀状

3. 優待券作成

一般 賛助会 友の会

4. 美術館たより「葵」の作成 3件

第60号 6月1日発行

エッセイ「国宝「源氏物語絵巻」の復元模写」

画家 加藤純子氏

第61号 1月1日発行

エッセイ「最初のきっかけ」

歌舞伎役者 板東三津五郎氏

第62号 4月1日発行

エッセイ「尾張徳川家と『遊女(ゆめ)のあと』」

作家 諸田玲子氏

[Ⅲ] 催 事

1. 講演会 2件

2. 定期研究発表会 第49回、第50回

3. 土曜講座「大名の生活と文化」

18. 4. 22～19. 3. 10 10回

4. 夏期講座「大名家の茶の湯」

18. 8. 22～ 8. 24

5. 能楽講座「尾張徳川家の能」テーマ：安宅

18. 4. 8、5. 6、6. 3、8. 5 4回

6. 古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

18. 6. 24、7. 1、8、15、22、29 6回

7. ギャラリー・コンサート

(内 容)

(年月日)

(入場者)

第53回 モーツァルトが街にやってきた I

オッテンザマー・クラリネット・トリオ

18. 6. 4

160名

第54回 セントラル愛知交響楽団共同企画

夏の思い出 くつろぎコンサート

9. 17

120名

(中日新聞社・セントラル愛知交響楽団共催)

第55回 ヴィクトリア・モーツァルト・トリオ

11. 4

97名

(中日新聞社・中部日本放送共催)

第56回 徳川園・蓬左文庫・徳川美術館 共同企画

加藤洋子&藤本真実 デュオ リサイタル

19. 1. 21

97名

(中日新聞社共催)

第57回 ベン・キム ピアノ・リサイタル (//)

19. 3. 24

142名

[IV] 教育普及活動

1. 土曜子ども教室 18.4.1～19.3.31 45日実施 子ども 1,319名・大人718名 合計2,037名参加
毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日三回各約60分。美術館の紹介、「今月のポイント」（月替わりで収蔵品を紹介）、「体験タイム」（月替わりで大名文化を体験）、常設展展示室での展示解説。

今月のポイント 4月：鎧と兜「武士の晴れ姿」 5月：美術品の保存と収納
6月：刀と太刀「刀は美しい！」 7月：名古屋 城下町とまつり
9月：茶碗のいろいろ 茶の湯 10月：おとぎ草子と絵本
11月：日本の絵画「巻物」 -源氏物語絵巻-
12月：能面・小鼓 1月：大名とお正月
2月：お雛さまのいろいろ 3月：お姫さまのたしなみ

体験タイム 4月：兜・鎧にふれる 5月：箱の紐のかけ方・包み方
6月：刀バラバラ体験 7月：掛軸をかける
9月：茶碗のいろいろ 10月：折本を作ろう
11月：ミニ源氏物語絵巻づくり 12月：能面・小鼓
1月：子ども出世すごろく 2月：貝あわせで遊ぼう
3月：琴にふれる

2. 夏休み子ども特別企画

名古屋市立小中学校ほかに割引券配布		420,000枚
「天下人たちの時代」ギャラリー・クイズ	8. 1～8.31	2,941名
小中学生の歴史教室「信長・秀吉・家康」	〃	1,357名
歴史体験教室「作って遊ぼう貝あわせ」	〃	1,267名
〃 「兜づくり教室」	8.20・21	23組92名

学生ボランティア ギャラリー・クイズに3名、歴史教室に3名、貝あわせ4名が参加。

3. 体験学習受け入れ

5月17日・19日実践女子学園中等部修学旅行320名、6月6日名古屋市立本郷小学校35名、9月27日名古屋市立天子田小学校68名、ほか貝あわせ、刀バラバラ、子ども出世すごろくなどの体験後、館内見学。

小中学校の分散学習や質問に対応、42団体が来館した。

4. 体験講座 ー日本の伝統文化にふれるー

- | | | |
|---------|-----|------|
| 1. 聞香 | 14件 | 401名 |
| 2. 貝あわせ | 4件 | 47名 |

[V] 賛助会・友の会

1. 賛助会

(1) 会員状況(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

会員種類	会員数
個人会員	173件(175口)
家族会員	40組(40口)
法人会員	69件(71口)

※家族会員40組中1組は1名増(12,600円増)の1口3名。

(2) 各種行事

- | | |
|-------------|------------------|
| (a) 企画展内覧会 | 原則として各企画展前日に開催 |
| (b) 賛助会会員の日 | 平成18年10月14日 139名 |

(3) 募集 平成19年2月に現会員(平成18年度)及び過去会員・中経連を中心に、入会案内を送付。

2. 友の会

(1) 会員状況(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

会員種類	会員数	内 訳		平成17年度からの継続率
		新規	継続	
一般会員	534件(534口)	148件	386件	66%(584件中 386件)
情報会員	63件(63口)	15件	48件	59%(82件中 48件)

※一般会員534名中17名が半期入会(4,200円)の会員

(2) 募集 平成19年2月に現会員(平成18年度)及び過去会員を中心に、入会案内を送付。

3. 徳川美術館拡充整備基金の会

(1) 募集 平成18年11月に過去の会員及び賛助会・友の会会員及びちらし発送者宛てに再度、寄附の案内を送付。

[VI] ボランティアの会

1. 登録者数 282名

2. 展示解説

(1) 平日の解説

(2) 土・日・祝日の展示解説

(3) 土曜子ども教室

(4) 申し込み団体への解説

(a) 概要解説 69件(延べ人数1919名)

(b) 体験講座－日本の伝統文化にふれる－ 20件(延べ人数 448名)

3. 各種行事

(1) 懇親会 月 日 平成19年3月10日(土)
場 所 徳川美術館 講堂・玄関ホール
参加人数 90名

4. 養成

- (1) 解説員第3期生
- (2) 第6期生(新会員)の募集・養成

5. その他のボランティア活動

- | | |
|------------------|-----|
| (1) 学芸部・企画情報部手伝い | 11名 |
| (2) 特別専任ボランティア | 6名 |
| (3) 講座等題字作成 | 1名 |
| (4) 館内生け花 | 1名 |

[VII] その他

1. 展覧会助成金申請

(助成団体)	(受給額)
名古屋市教育委員会 第85回名古屋市文化史教室 夏休み子ども特別企画	180,000円

2. 平成18年度 文部科学省委託事業 地域子ども教室推進事業 2,387,000円

平成18年4月1日から平成19年3月31日までの土曜子ども教室および夏休み子ども教室を地域子ども教室推進事業として実施。

Ⅱ. 処務事項

[Ⅰ] 主な来館者（敬称略）

- 7月 7日 細江茂光 岐阜市市長
7月22日 中野直輝 小牧市市長
10月14日 ロスアンゼルス市議団一行 7名
11月24日 ステファノ・ザニーニ イタリア総領事

[Ⅱ] 第15回徳川美術館運営懇話会

- 開催日 平成18年10月18日（水）午後4時30分から5時
開催場所 徳川美術館 貴賓室
出席委員 愛知県知事 神田真秋氏、 名古屋市長 松原武久氏、 名古屋商工会議所会頭 箕浦宗吉氏、 株式会社三菱東京UFJ銀行名誉顧問 西垣 覚氏、 中部電力株式会社代表取締役会長 川口文夫氏、 財団法人徳川黎明会会長・徳川美術館館長 徳川義崇（6名）
欠席委員 名古屋鉄道株式会社相談役 谷口清太郎氏、 中部経済連合会会長 豊田芳年氏、 トヨタ自動車株式会社最高顧問 豊田英二氏 （3名）
議事進行 議題1 委員交代
徳川黎明会 前会長・徳川美術館館長徳川義宣の死去に伴い、会則による徳川義崇現会長・館長への委員交代が了承された。
議題2 徳川美術館の運営報告等
副館長 山本泰一が平成17年度の事業・収支状況・施設管理状況・館関係情報の報告を行った。 ついで18年度の入館者数状況、ショップ 葵の譲渡、館内改修工事、等について質疑応答を行った。

[Ⅲ] 徳川美術館拡充整備基金

第2回拡充整備基金

博物館法による「特定公益増進法人」（通算8回目）の認定（平成17年2月10日付）を受け、平成17年2月10日より平成19年2月9日までの間（2年間）、総額2,500万円を目標に寄附金の募集を実施した。

(1) 寄附金受付業務

寄附金額（平成17年2月10日より平成19年2月9日まで）

法人会員	43 件（ 66 口）	6,600,000 円
個人会員	693 件（ 3,942.2口）	39,422,000 円
		合計 46,022,000 円

(2) 大口寄附者に対する感謝状の贈呈（個人は30口以上、法人は10口以上）

法人会員	小牧市				
個人会員	寺島一夫	加藤みゆき	直井 信	佐藤豊三	長澤弘宣
	田川承利	佐々木剛志	伊藤宗観	和田義弘	友斎捨市
	伊藤康之	筒井康弘	筒井奈美	岡谷篤一	小林仁幸
	蜂須賀栄治	加納賢治	上田裕子	星野眞知子	湯浅四郎
	石垣 富			以上21名	贈呈順 敬称略

第3回拡充整備基金

博物館法による「特定公益増進法人」（通算9回目）の認定（平成19年2月9日付）を受け、平成19年2月9日より平成21年2月8日までの間（2年間）、総額2500万円を目標に寄附金の募集を実施する。（平成19年2月9日は第2回拡充整備基金認定分と重複しているが、実際の入金はなかった為、寄附金の重複はなし。）

(1) 寄附金受付業務

寄附金額（平成19年2月9日より平成19年3月31日まで）

法人会員	1 件（ 3 口）	300,000 円
個人会員	10 件（ 102.1口）	1,021,000 円
		合計 1,321,000 円

(2) 大口寄附者に対する感謝状の贈呈（個人は30口以上、法人は10口以上）

法人会員	該当者なし
個人会員	畠中卓明

[IV] 販売促進

1. 来館者の拡大

(1) 大学メンバーシップへの勧誘

新規加盟 1件 名古屋学院大学

(2) 団体シェアの拡大

- ① 旅行会社への営業活動（関東、近畿、東海地区の大手旅行社、バス会社 100社へ営業）
- ② 名古屋市内、近郊のロータリークラブ、ライオンズクラブ（78クラブ）に美術館での出張例会開催の企画提案

◎ 団体入館者数実績 30,251名（目標：35,000名） 達成率：86.48%

(3) 個人客の利用促進

- ① 鉄道会社（JR東海、名鉄）へのポスター・チラシによる広報宣伝協力
企画展示「天下人たちの時代」、秋季特別展「茶の湯の名宝」
特別展「尾張徳川家の雛まつり」
 - ② 前売券の販売促進
百貨店友の会（6店舗）2,900枚販売 他、チケットぴあ、ローソンチケット、東海四県生協で販売実績有り
 - ③ 名古屋市三大美術館共通入場券の販売（名古屋市美術館、ボストン美術館との共通券）
実績： 97枚
 - ④ 百貨店友の会の見学会実施
* 「茶の湯の名宝」展
マツザカヤ友の会（24名） 近鉄友の会（18名）
* 「尾張徳川家の雛まつり」展
マツザカヤ友の会（52名） 名鉄百貨店友の会（37名）
三越友の会（56名） 近鉄友の会（50名）
 - ⑤ 鉄道会社主催のウォーキングイベントとタイアップ推進
* 「JRさわやかウォーキング」（11/3 開催）参加者への来館誘致
実績： 100名
* 「名鉄ハイキング」（2/4 開催）参加者への来館誘致
実績： 738名
 - ⑥ 割引提携組織への来館PR
JAF（日本自動車連盟）会報誌に「雛まつり」展の誘致記事掲載
実績： 772名
 - ⑦ 「ガーデンレストラン徳川園」との提携
* レストランでの挙式参列者への美術館特別割引入館料金の新設
* 美術館での挙式「ギャラリーウェディング」プランの提案
- ◎ 個人入館者数実績 221,612名（目標：195,000名） 達成率：113.6%

2. 宝善亭の弁当販売促進

(1) 「雛まつり」展期間中の「ひな御膳」販売

実績： 6,080食（前年比 115%） 過去最高

(2) 茶席弁当の販売

実績： 4,584食（前年比 63%） 17年度万博による販売増があった翌年のため

[V] 特別催事

- | | | |
|-----------------|----------|----------|
| 1) 来館者500万人記念式典 | | 18. 8. 1 |
| 2) 故徳川義宣氏を偲ぶ会 | 出席者数600名 | 18.11.27 |

[VI] 計画営繕整備

1. 建物・設備管理の中期営繕計画に基づき、短期営繕計画立案と実施

(1) 館内整備実施事項

- ファンコイル系統空調のパッケージエアコンへの取替
- 学芸事務室屋上防水工事
- 熱源設備ポンプ10台のうち6台取替
- 本館床面ワックス一部塗り直し
- 新館床面ワックス塗り直し
- 移動型展示ケース錠取替 (第2回徳川美術館拡充整備基金より支出)
- 自動火災報知設備取替
- 雑排水層逆止弁取替
- 消防設備補修工事
- 宝善亭グリーストラップ取替
- 冷温水環バタフライ弁取替
- 目隠し柵、結界柵作製
- 洗面所・事務室扉塗装
- 年末特別清掃
- 収蔵庫内軸用棚什器作製 (第2回徳川美術館拡充整備基金より支出)

(2) 庭園・茶室整備実施事項

- 徳川茶会を主とする庭園維持管理と餘芳軒・山ノ茶屋「襖」「障子」「畳」修繕
- 山ノ茶屋網戸設置

2. 備品整備

(1) 購入備品

- | | |
|---------------------------|----------------|
| ●展示用免震台 (平成18年度年賀寄付金配分事業) | ●32型液晶テレビ |
| ●DVDレコーダー2台 | ●講堂放送設備取替 |
| ●宝善亭用冷凍冷蔵庫 | ●宝善亭洗面所ガス給湯器取替 |
| ●玄関・風冷室マット取替 | |

(2) 修理

- | | |
|---------------|--------------|
| ●本館ロビー休憩用椅子張替 | ●ロビー用木製ベンチ補修 |
|---------------|--------------|

3. 委託契約の締結

- 総合管理業務請負契約
- エレベーター・リフト保守契約
- 火災・機械保険契約

[VII] 商品販売

1. ミュージアムショップの販売状況

(1) 買取商品

絵はがき 21,783枚 絵はがきセット 13,470セット、よみがえる源氏物語絵巻
切手シート 2,021部 等

(2) 委託商品

クリアファイル、ミニクリアファイル、うつし金蒔絵、懐紙などが好評であった。

(3) 新商品の開発

線香、食器、切手シート、根付け

また企画展ごとに展示品にあわせて販売する商品を増やした。

本年度の商品の売上高は好調で目標を大幅に上回り、達成率は125.1%であった。

[VIII] 席貸し

映画「ナイト・ミュージアム」試写会 中部日本放送

徳川林政史研究所

I. 事業事項

[I] 調査研究

1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
(1) 近世材木商の研究	所 長 竹内 誠	平成11年4月
(2) 江戸の園地政策	副 所 長 深井 雅海	〃 18年4月
(3) 江戸～明治期における林野行政と地域社会	主任研究員 太田 尚宏	〃 18年4月
(4) 近世大名権力の形成と幕藩関係	研 究 員 白根 孝胤	〃 16年4月
(5) 都市近郊山村における林業の展開とムラ社会	筑波大学助教授 加藤 衛弘	〃 12年4月
(6) 近世林野利用史と山林社会・林業経営	川村女子短期大学 大学院兼任教授 大崎 晃	〃 17年4月
(7) 近世南信地方における山林支配と領主制	非常勤研究生 田原 昇	〃 18年4月

2. 科学研究費補助金による研究

文部科学省からの科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

(1) 特定奨励費

研究事業名 近世・近代における森林管理・活用史研究に関する事業

補助事業の一環として、全国森林管理局史料調査を行っており、今年度は下記の調査を実施した。

・九州森林管理局所蔵史料調査および目録作成 (第1回)	H18. 7. 23～ 7. 27
・ 〃 (第2回)	11. 26～11. 30
・ 〃 (第3回)	H19. 2. 18～ 2. 22
・中部森林管理局所蔵史料調査および目録作成 (第1回)	H18. 6. 12～ 6. 15
・ 〃 (第2回)	H19. 3. 14～ 3. 16

(2) 若手研究 (B)

課 題 番 号 17720166
研究課題名 江戸幕府法支配の研究－幕府裁許状の分析を中心に－
研究代表者名 宮原一郎 (非常勤研究生)

3. 自主事業による史料調査

八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査 H18. 10. 31～11. 2

[Ⅱ] 研究発表

1. 「研究紀要」第41号 平成18年度

- | | |
|---|-------|
| (1) 山村甚兵衛家による木曾山林支配の様相
－御関所御預と植林との関係から－ | 田原 昇 |
| (2) 木曾山における森林保護と巢山・留山再考
－尾張藩の享保林政改革前を中心に－ | 大崎 晃 |
| (3) 御三家における縁戚関係の形成と江戸屋敷
－尾張家を中心として－ | 白根 孝胤 |
| 〔研究ノート〕 | |
| (4) 近世木曾材の伐木・運材の史料について(上)
－享保の林政改革期に成立した史料をめぐって－ | 安藤 茂良 |
| 〔調査報告〕 | |
| (5) 九州森林管理局所蔵史料調査の記録 (一) | 太田 尚宏 |

2. 研究会

- | | |
|--|-------|
| (1) 第1回研究会〈非常勤研究生研究発表会〉(H18. 8. 4) | |
| 関東村落における飢人の様相－「飢人書上帳」の分析を中心に－ | 栗原 健一 |
| 富の意義と変遷－福富から富くじ・宝くじへ－ | 滝口 正哉 |
| 慶長期における井伊家家中の統制と幕藩関係 | 小宮山敏和 |
| 幕末維新时期における尾張藩の動向 | 上野 恵 |
| 勸進能興業と江戸庶民 | 石山 秀和 |
| 江戸の「風」をめぐって | 浦井 祥子 |
| 幕末期上州における改革組合村の運営－親分的村役人と地域社会－ | 坂本 達彦 |
| 幕府代官所における地役人制の展開－飛騨国高山役所を中心に－ | 高橋 伸拓 |
| 鷹狩りに関わる「肝煎役」について | 山崎 久登 |
| 論所裁許と検使見分－近世前期における関東地域の山論・野論を中心に－ | 宮原 一郎 |
| 尾張藩主徳川茂徳の政治的位置－文久期を中心に－ | 藤田 英昭 |
| (2) 第2回研究会 (H18. 9. 11) | |
| 将軍「御印判」製作過程に見る将軍権威の所在
－御印判師佐々木家文書を中心に－ | 西 光三 |
| (3) 第3回研究会 (H18. 10. 16) | |
| 木曾福島関所御預山村甚兵衛家による木曾谷中支配の様相
－関所支配と山林育成の関係から－ | 田原 昇 |
| (4) 第4回研究会 (H18. 12. 18) | |
| 近世後期尾張家における縁戚関係の形成と江戸屋敷 | 白根 孝胤 |
| 伊勢両宮御遷木山と地元村方－文久二年の御遷材伐出時における湯船沢村－ | 太田 尚宏 |

3. 受賞

(1) 第3回徳川記念財団奨励賞

研究者名 非常勤研究生 小宮山敏和
研究課題 中近世移行期における大名権力と幕藩体制の成立 —譜代大名を中心に—
研究者名 非常勤研究生 滝口正哉
研究課題学 江戸における御免富の研究

4. 部外発表

- (1) 「御三家」の成立と展開 竹内 誠
(新宿歴史博物館・千代田区立四番町歴史民俗資料館・文京ふるさと歴史館
共同企画展示『徳川御三家 江戸屋敷発掘物語』展 図録)
- (2) 『大江戸座談会』 (柏書房 監修) //
- (3) 『日本の街道ハンドブック (新版)』 (三省堂出版 編著) //
- (5) 八代将軍徳川吉宗の評価 (『出版ダイジェスト』2046号) //
- (6) 地域とともに歩む新時代博物館—江戸東京博物館での実践—
(『マナビィ』No. 67 文部科学省) //
- (4) 将軍のことば—「御意之振」に見る格式と変化— 深井 雅海
(『徳川家茂とその時代』展 図録 徳川記念財団)
- (5) 公儀隠密御庭番の実像 (『週刊藤沢周平の世界』19 朝日新聞社) //
- (6) 尾張家における『御出入之衆』と江戸屋敷 白根 孝胤
(『尾張藩社会の総合的研究』第三篇)

5. 部外出講

- | | | | |
|------------|----------|----|-------|
| (1) 昭和女子大学 | 日本近世史 | 通年 | 太田 尚宏 |
| (2) // | 日本近世史演習 | // | // |
| (3) // | 卒業論文 | 集中 | // |
| (4) // 大学院 | 歴史文化研究ID | 通年 | // |
| (5) 中央大学 | 日本史概説 I | 後期 | 白根 孝胤 |

[Ⅲ] 史料・図書の収集整理

1. 所蔵史料の整理・データベース作成

- (1) 尾張徳川家文書(尾一)の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った(795点)。
- (2) 未整理であった尾張徳川家文書(尾八)の整理に着手し、目録カード作成およびデータ入力を行った(350点)。
- (3) 蟹江鈴木家文書の目録カードを作成した(2,000点)。
- (4) 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った(2,102点)。
- (5) 未整理であった「勤王誘引書類」の整理に着手し、目録カード作成およびデータ入力を行った(530点)。

- (6) 蜂須賀家文書の再整理に着手し、目録細目カード作成およびデータ入力を行った(300件)。
- (7) 徳川林政史研究所収集絵図の再整理に着手し、目録作成を行った(214件)。
- (8) 「古簡編年」の収録史料細目を作成した(1000件)。

2. 研究用史料の写真撮影

原史料の保全および研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- (1) 中部森林管理局所蔵史料(デジタルデータ8,300コマ)。

3. 所蔵古写真のデジタル化

所蔵古写真の画像解析および保存のため、デジタル化を行った。

- (1) 写真資料(13点15カット)

[IV] 所蔵史料の目録刊行

- (1) 尾張徳川家文書目録(三)を研究紀要第41号に収録刊行した。
- (2) 石河家文書目録(二)を研究紀要第41号に収録刊行した。

[V] 教 育 普 及

1. 徳川林政史研究所公開講座

徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)	(参加者数)
(1) 特別講座 「伊勢の遷宮御用材と木曾山」	H18. 8. 31	太田 尚宏	117名
(2) 桜田門外の変と御庭番	9. 7	深井 雅海	119名
(3) ペリー来航とその時代	9. 14	竹内 誠	120名
(4) 黒船来航と雄藩大名	9. 21	白根 孝胤	110名
(5) 安政の列島大激震	9. 28	太田 尚宏	110名

2. 徳川美術館主催「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加した。

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)
(1) 天明の打ちこわしと寛政改革	H18. 6. 24	竹内 誠
(2) 松平定信政権成立の裏事情	7. 1	深井 雅海
(3) 御三家の系譜編纂事業(1)	7. 8	白根 孝胤
(4) " (2)	7. 15	"
(5) 御代官所の構造改革(1)	7. 22	太田 尚宏
(6) " (2)	7. 29	"

3. 公開講座の成果刊行

平成15年度に実施した第5回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた徳川林政史研究所監修『江戸時代の古文書を読むー寛政の改革ー』（東京堂出版）を刊行した。

4. 講演・講座

演 目	主 催 者 等	年 月 日	担 当
江戸の文化に学ぶ	富士通系情報処理サービス業グループ 東京支部平成18年度総会記念講演	H18. 4. 6	竹内 誠
江戸時代の心と技（わざ）	江戸城再建を目指す会NPO設立総会記念講演	4. 25	〃
江戸の文人たち	向島百花園文化講演会	4. 28	〃
江戸のユーモア	六本木ロータリークラブ卓話	6. 19	〃
再発見・江戸時代の通信	逓信協会東京地方本部総会記念講演	6. 23	〃
江戸の食文化	武蔵野文化協会総会講演	7. 8	〃
江戸文化に学ぶ	遠州流茶道夏期講習会記念講演	7. 16	〃
江戸時代の教育	長野県上高井教員会夏期講演会	8. 1	〃
江戸の女性と子供たち	全国国立大学付属学校連盟校長会記念講演	8. 24	〃
江戸の文化と遊びどころ	東京商工会議所中央支部講演	8. 30	〃
江戸城と将軍	日光山輪王寺第55回仏教文化講座講演	9. 9	〃
江戸と大坂にんげん模様	関西経済連合会常任理事会講演	9. 19	〃
未来に生かそう江戸談義	東京納税貯蓄組合総連合研修会講演	10. 12	〃
開国後の日本	神奈川県立公文書館古文書解説上級講座	10. 22	〃
江戸時代に学ぶ「町」づくり	長野県坂城町ふれあい大学講演	10. 28	〃
幕末の紀州藩士の江戸ぐらし	千代田区立四番町歴史民俗資料館特別展記念講演	11. 2	〃
再発見・江戸のものづくり	埼玉県北部地域技術交流会基調講演	11. 8	〃
寺子屋に学ぶ現代の教育	第54回全国私学教育研究集会東京大会講演	11. 10	〃
藤沢周平の世界と時代考証	朝日カルチャーセンター『藤沢周平の世界』創刊記念講演	11. 24	〃
大江戸歳時記 一年末年始の暮らし	日本国際婦人協会講演	12. 5	〃
江戸幕政の展開と紀州閥 ー享保改革・田沼政治の再検討ー	早稲田大学日本史研究会記念講演	12. 9	〃

演 目	主 催 者 等	年 月 日	担 当
江戸の長崎、長崎の江戸	長崎純心大学市民講座	H19. 1. 12	
江戸の商人と文化	サンシャインシティ・テナントオーナー研修会講演	1. 17	〃
江戸の美意識	日本ファッション協会流行色情報センター会員懇談会講演	2. 8	〃
観光都市・江戸の魅力	東京商工会議所文京支部講演	2. 15	〃
古文書を読む －刃傷松の廊下の記録を読むⅡ－	國學院大学栃木短期大学 古文書公開講座（全5回）	H18. 5. 24 ～ 6. 28	深井雅海
江戸城の構造と殿中儀礼	國學院大学栃木短期大学公開講座	9. 16	〃
将軍権威と殿中儀礼	日本風俗史学会特別講演	10. 7	〃
江戸城本丸御殿の空間と機能	江戸東京博物館えどはくカルチャー「講座・江戸城」	H19. 1. 13	〃
江戸城における消費物資の調達について	江戸東京博物館シンポジウム「江戸城研究の新視点」	H19. 1. 27	太田尚宏

5. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、可能な限り教育機関からの調査・見学などに協力した。

6. 案内パンフレットの作成

(1) 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成18年度版を作成した。

7. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを作成し随時更新するとともに、新たに6件の史料目録を一般公開した。

[VI] 図書の収集・整理

1. 図書整理

(1) 昨年度に引き続き図書・雑誌のコンピュータ入力を進め、旧受け入れ図書6冊、新着図書554冊に対し、ラベル貼付、並びに入力作業を行なった。

(2) 抜刷の整理

抜刷24点のコンピュータ入力を終了し、書庫内に配架した。

出陳先	展覧会名称	会期	出陳品
神奈川県立 歴史博物館	「富士山大噴火―宝永の「砂降り」と 神奈川―」展	H18. 10. 14-11. 19	「鸚鵡籠中記 卷19」
新宿歴史博物館	「徳川御三家 江戸屋敷発掘物語 ―尾張藩邸への誘い―」展	H18. 10. 21-12. 3	「登城之道筋之図」他7点
犬山城白帝文庫	「犬山城―城をめぐる歴史と天守創 建の謎を探る―」展	H18. 10. 28-11. 28	「犬山城絵図」
江戸東京博物館	「江戸城」展	H19. 1. 2- 3. 4	「礼物軌式」

4. 徳川記念財団所蔵史料関係

(1) 展示補修等への協力

史料名等	期間	目的
「家茂宸翰之叡御請書」他10点	H18. 4. 27- 6. 30	補修
「和宮親子内親王筆 徳川家茂宛書状」	H18. 8. 14- 9. 1	〃
「京地事変鎮静行届二付松平肥後守褒賞の筋御意之振」他10点	H18. 8. 14- 9. 15	展示
「御元服記」他32点	H18. 9. 15-11. 15	〃
「家茂御前髪被執候ニ付日光御名代任命之節御意之振」他9点	H18. 11. 10-12. 10	〃
「御意ノ振（徳川家定死去につき）」他20点	H18. 12. 11- H19. 3. 20	〃
「御意ノ振（参勤御暇・お礼につき）」他2点	H18. 12. 15- H19. 3. 20	〃

[VIII] 平成17年度(第40号)研究紀要の寄贈・頒布

印刷部数 750部 内、寄贈・交換 529冊 頒布 65冊

Ⅱ. 処務事項

[Ⅰ] 外部関係

下記の文書を会長名を以って文部科学大臣に提出した。

(1)	科学研究費補助金（特定奨励費）	平成17年度実績報告書	平成18年 4月 7日
(2)	〃	平成18年度交付申請書	5月10日
(3)	〃	〃 交付請求書	5月10日
(4)	〃	補助事業実施状況報告書（第1-四半期）	7月10日
(5)	〃	補助事業実施状況報告書（第2-四半期）	10月10日
(6)	〃	平成19年度事業計画調書	11月13日
(7)	〃	補助事業実施状況報告書（第3-四半期）	平成19年1月10日

[Ⅱ] 事業評価委員会

平成19年3月6日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成18年度事業について評価・講評を受けた。